
Google Scholarへの電子所蔵の公開

Google Scholarへの公開を設定するには、次のいずれかの役職が必要です。

- 目録管理者
- リポジトリ管理者
- 一般システム管理者

Note

現在、Google Scholar Library Linksはジャーナル記事のみを取り扱っています。書籍はまだLibrary Linksの対象になっていません。しかし、将来的にGoogle Scholarのポリシーが変更になり、電子書籍も扱うようになることを想定して、現在でもAlmaは機関所蔵ファイルで電子書籍を公開しています。それまでは、ブックタイトルはフルテキストにアクセスできるように表示されますが、Google Scholarにはタイトルが表示され、フルテキストのリンクはありません。

Almaはすべての新規カスタマーをGoogle Scholarに登録します。Google Scholarプロフィール内に構造上の変更がある場合(たとえば、特定のキャンパスのサブプロフィールの追加/削除)、ユーザーは新しいプロフィールに登録するために、[Almaサポート](#)に連絡する必要があります。

Google Scholarに電子所蔵を公開するには、電子レコードをGoogle Scholarに公開する公開プロフィールを設定する必要があります。これによって、[Google Scholarに公開ジョブ](#)をスケジュールします。ジョブを毎週実行して、所蔵情報が正確であることを確認します。この公開プロフィールには、所属の機関に所蔵情報を表示するためにGoogle Scholarが使用する設定が含まれています。

次の情報がGoogle Scholarに公開されています。

- タイトル
- 識別子 - ISSN/ISBN識別子 (022/020フィールドから取得) を持つレコードのみが公開されることに注意してください。
- 存在する場合、完全なカバレッジ

ネットワークゾーンで作業する場合、Almaはネットワークゾーンと各メンバー機関からの電子所蔵を同時に公開し、それぞれ以下を作成します。

Note

公開プロフィールは、ネットワークだけでなく機関ゾーンでも設定され、アクティブになっている必要があります。

-
- ネットワークゾーンで定義されている各「利用可能」グループごとに1つの機関所蔵ファイル。各「利用可能」グループは、各メンバー機関に対応しています。
 - 各メンバー機関から1つの機関所蔵ファイル。

グループが定義されていない場合、可用性はデフォルトで「すべて」になります（[ネットワークゾーンからの電子リソースへの分散アクセスの構成 - Ex Librisナレッジセンター \(exlibrisgroup.com\)](#)を参照）。この場合、Google Scholarへの公開は、すべてのNZ所蔵資料をすべてのメンバー（アクティブなスケジュール登録GSプロフィールを持つメンバー）に公開するとともに、各IZは独自の所蔵資料を公開します。

毎週、システムは上記の機関所蔵ファイルを1つの機関所蔵ファイルに統合して、Google Scholarが収集できるようにします。

Google Scholarの公開プロフィールを設定するには：

1. 出版プロフィールページ（リソース > 公開 > 公開プロフィール）で、Google Scholarに電子レコードを公開する公開プロフィールの行にあるアクションリストに編集を選択します。Google Scholarの公開プロフィールの詳細ページが表示されます。

公開プロフィールの詳細ページ（標準設定）

Note

マルチキャンパス設定の場合、[公開プロフィールの詳細]ページが開き、[電子プロフィール]セクションが表示されます。このセクションでは、キャンパスごとにGoogle Scholar設定を設定できます。詳細については、[マルチキャンパス設定のためのプロフィールの追加](#)を参照してください。

2. プロフィールのフィールドを設定します。

登録パラメータ

パラメータ	説明
公開パラメータ：	

パラメータ	説明
ステータス	アクティブまたは非アクティブ。
スケジューリング	公開スケジュール。
ホスト名*	このフィールドは表示される場合と表示されない場合があります。 このフィールドは、複数の異なるURL名からGoogleへの公開を有効にします。 たとえば、ある機関が「mylibrary.myinstitution.edu」というURLを持つ1つのビューを持っている場合、その範囲はすべての図書館資料用であり、「myresearch.myinstitution.edu」というURLを持つ研究用の2番目のビューは論文のみの範囲を持っています。 このシナリオでは、機関はGoogleにさまざまな資料を公開し、どのURLにリンクするかを伝えることができます。
Eメール通知	公開プロフィールが完了したときにEメール通知を受け取るユーザーとメールアドレスを指定します。
登録パラメータ：	
表示名	Google Scholarの設定での所属機関/キャンパスの表示名。名前が指定されていない場合、表示名はデフォルトで施設名になります。
キーワード1/2/3/4/5	ユーザーがGoogle Scholarで設定を構成するときに図書館を見つけることができるキーワード（学校のニックネームなど）。このフィールドはオプションで、5ワードまたは30文字の制限があります。
リゾルバリンクのラベル（記事が電子的に存在する場合）	Google Scholarの検索結果に表示されるリンクのラベル。このフィールドは必須で、25文字の制限があります。 例：ViewIt@MyU <hr/> Note 古いGoogle Scholarアカウントを持っている場合は、テスト用に新しいラベルを設定して、古いシステムと新しいシステムを区別できるようにすることをお勧めします。確認後、ラベルを必要な設定に戻すことができます。 <hr/> Google Scholarを実際に稼働させはじめる際、「Go Live」にした後は古いラベルを廃止する必要があることに留意してください。
リゾルバリンクのラベル（記事が電子で存在していない場合）	Google Scholarの検索結果に表示されるリンクのラベル。このフィールドは必須で、25文字の制限があります。 例：GetIt@MyU
OpenURLベース	値は、AlmaサービスページのベースURLです。このフィールドは必須で、1024文字の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> Alma-Summonには次のフォーマットを使用します：<code>https://<Alma_domain>/openurl/<Institution_code>/<View_code></code> Primo（新UI）とPrimo VEには次のフォーマットを使用します：<code>https://<Primo_domain>/openurl/<Institution_code>/<View_code>?</code> <hr/> Note Alma-Summonの場合、次のフォーマットを使用してください： <code>https://<Alma_domain>/openurl/<Institution_code>/<View_code></code> <hr/>

パラメータ	説明
	<p>Primo VEの場合は次のフォーマットを使用してください：<code>https://<Primo_domain>/openurl/<Institution_code>/<View_code></code></p> <p>Primo (新しいUI)の場合は次のフォーマットを使用してください：<code>https://<Primo_domain>/openurl/<Institution_code>/<View_code>?</code></p> <hr/> <p>ベースURLには次の要素が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ Alma_domain – Almaへのアクセスに使用するドメイン名を指定します。 ◦ Primo_domain – PrimoまたはPrimo VEのエンドユーザーインターフェイスへのアクセスに使用するドメイン名を指定します。 ◦ Institution_code – Primoの場合、Primoで定義されている機関コードを指定します。Primo VEおよびAlma-Summon環境の場合、Almaで定義されている機関コードを指定します。 ◦ View_code - あなたのサービスのページビューのコードを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ Primoの場合、Primo Back Officeのビューウィザードを使用して、検出ビューに定義されているコードを指定します。 ▪ Primo VEの場合、[設定を表示]ページで検出ビューに定義されているコードを指定します。例：<code>01MY_INST:MyView</code> ▪ Alma-Summonの場合、[設定の表示]ページでサービスページに定義されているコードを指定します。例えば：<code>01MY_INST:Services</code>。 <p>Primo VEの例： <code>https://mylibrary.primo.exlibrisgroup.com/openurl/01MY_INST/01MY_INST:MY_VIEW</code></p> <p>Summonの例： <code>https://na01.alma.exlibrisgroup.com/openurl/01MY_INST/01MY_INST:Services</code></p> <p>Primo (新UI) の例： <code>https://primo2.prod.hosted.exlibrisgroup.com/openurl/01MY_INST/MY_VIEW</code></p>
パトロンIPレンジ	<p>ユーザーが、Google Scholar 設定 > 図書館リンクであなたの機関を選択しなくても機関のリンクを参照できる図書館IPアドレスの範囲 (Google Scholarデータの検証の、「Google Scholar図書館リンク」の図を参照してください)。このフィールドはオプションです</p> <p>セミコロンで区切られた256個以下のIP範囲を入力します。例： <code>123.12.12.*;122.10.10.1-123.10.10.80</code></p>
IPレンジから来たユーザーのみにリゾルバリンクを表示するかどうか。	<p>Google Scholarの検索結果でリンクを表示させたい場合、ユーザーが指定されたIP範囲内から検索を実行する必要があるかどうか。タイトルフィールドは必須です。有効な値ははいかいいえのみです。デフォルト値はいえになっています。あなたのリンクが機密情報などを含んでいない限り、デフォルト値のままにしておくことをお勧めします。</p>
技術的な問題に関する連絡先情報	<p>名、姓、Eメールアドレスの各フィールドに機関の連絡先情報を入力します。</p>

3. 保存を選択して、変更を保存します。

Google公開ジョブが土曜日または日曜日に実行されるようにスケジュールしたことを確認してください。Googleの収集プロセスは月曜日に始まり、その週の木曜日まで終了しない場合があります。

設定したラベルはライブGoogle Scholarサイトに表示されます。ですから、まずはテストラベルを使用してプロファ

イルを設定することをお勧めします。実装中のテストラベルの表示について懸念がある場合は、「Go Live」の後までGoogle Scholarをテストしないことをお勧めします（いずれにしても、「Go Live」になるまでは古いラベルを廃止しないでください）

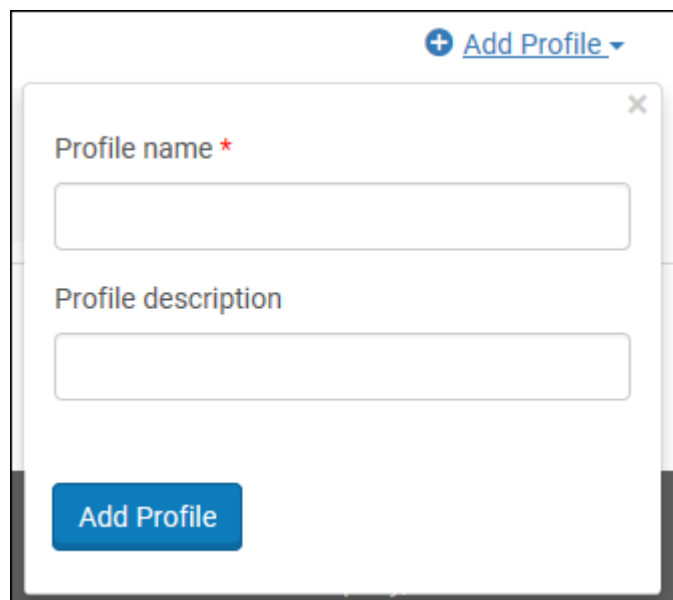
4. Google Scholarのデータが正しいことを検証します（[Google Scholar データの検証](#)を参照してください）。

マルチキャンパス設定のプロファイルの追加

マルチキャンパス設定として、電子レコードをGoogle Scholarに公開する公開プロフィールジョブは、電子プロフィールセクションを含んでいます。これにより、マルチキャンパスの目録管理グループとして定義されている図書館およびキャンパスのグループごとに異なるGoogle Scholar登録パラメータを設定できます（それぞれをPrimo機関として個別に定義することもできますし、または1つのPrimo機関としてまとめて定義することもできます）。これにより、キャンパスごとに個別の所蔵情報を公開できます。

Google Scholarプロフィールを追加するには：

1. Google Scholarのプロフィールを追加する際、Eメールアドレスを追加した後（[Google Scholarに電子所蔵を公開する](#)を参照）、[プロフィールの追加]ダイアログボックスを開くにはプロフィールを追加を選択します。



[プロフィールの追加]ダイアログボックス（マルチキャンパス設定のみ）

2. プロファイル名にキャンパスまたは図書館の名前を指定します。

Note

プロフィール名にアンダースコア（`_`）またはハイフン（`-`）以外の特殊文字を使用しないでください。名前はGoogleクローラーのURLの一部であるため、URLに適した文字に制限されています。特殊文字を導入すると、ジョブ「Google Scholarへの公開」の実行時にジョブが失敗します。

3. 追加して閉じるを選択して、[公開プロフィールの詳細]ページに戻ります。

Publishing Profile Details [Cancel] [Save]

Profile Details

Profile name * Publish electronic records to Google Scholar

Profile description Publish electronic records to Google Scholar

Publishing Parameters

Last Harvesting Date -

Status Active Inactive

Scheduling Not scheduled

Email Notifications

Electronic profiles [Add Profile] [Share] [Settings]

Profile name	Profile description	
1 West	West campus	...

公開プロファイルの詳細ページ（プロフィールの追加）

4. 新しいプロフィールを編集します。選択したプロフィールの[公開プロフィールの詳細]ページが開きます。

Publishing Profile Details [Back] [Cancel] [Save]

Profile Details

Profile name * West

Profile description West campus

Publishing Parameters

Last Harvesting Date -

Electronic profile members [Add another member]

No records were found.

Contact Information for Technical Issue

First Name *

Last Name *

Email address *

Registration Parameters

Display name (institution name will be used as default)

keywords(1)

keywords(2)

keywords(3)

keywords(4)

keywords(5)

Label of resolver links (when article exists electronically)

Label of resolver links (when article does not exist electronically)

OpenURL base

Patron IP range (enter up to 256 IP ranges, semicolon separated, e.g. 123.12.12.*;122.10.10.1-123.10.10.60)

Show resolver links only to users that come from your IP range? Yes No

公開プロフィールの詳細ページ（電子プロフィールメンバー）

5. 電子プロフィールのメンバーセクションでは、他のメンバーを追加を選択し、次のフィールドを使用してプロフィールグループにメンバーを追加します。

- キャンパス - ドロップダウンリストからキャンパスを選択し、**[キャンパスを追加]**を選択します。
- 図書館 - ドロップダウンリストから図書館を選択し、**[図書館を追加]**を選択します。

Publishing Profile Details [Back] [Cancel] [Save]

Profile Details

Profile name * West

Profile description West campus

Publishing Parameters

Last Harvesting Date -

Electronic profile members

+ Add another member

Member	Type
1 Biology Library (BIO)	LIBRARY

Contact information for Technical Issue

First Name *

Last Name *

Email address *

Registration Parameters

公開プロファイルの詳細ページ（メンバー追加）

6. [Google Scholarへ電子所蔵を公開する](#)での説明にしたがって、プロファイルを完了します。

Google Scholarの設定またはGoogle Scholarデータへのアクセス

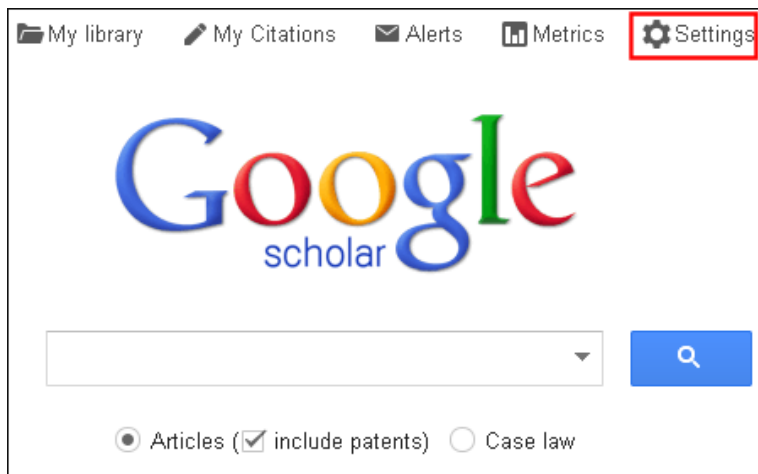
このセクションでは、Google Scholarにレコードを公開後、またはGoogle登録設定を更新後、Google Scholarへの更新を検証する方法について説明します。機関のIP範囲外の利用者およびユーザーの場合、Almaリンクリゾルバを使用して全文にアクセスするには、次の手順に従う必要があります。

Google Scholarデータにアクセスできることを確認するには：

1. Google Scholarページにアクセスします (<http://scholar.google.com/>)。
2. Google Scholarで図書館リンク設定を構成します。これにより、図書館から記事へのリンクを表示できます。Google ScholarのIP範囲を設定している場合、登録されたIP範囲内のコンピュータからアクセスしたときの設定はデフォルトで所属機関の登録名になります。

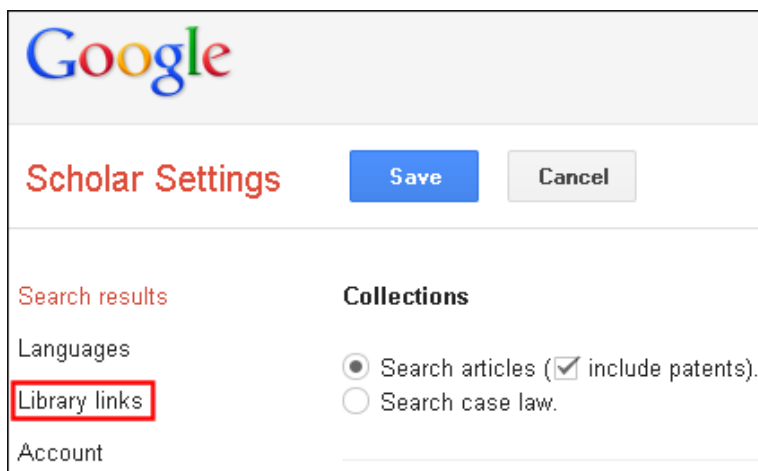
デフォルト設定の確認、またはGoogle Scholarの設定の変更をするには：

1. 設定を選択します。



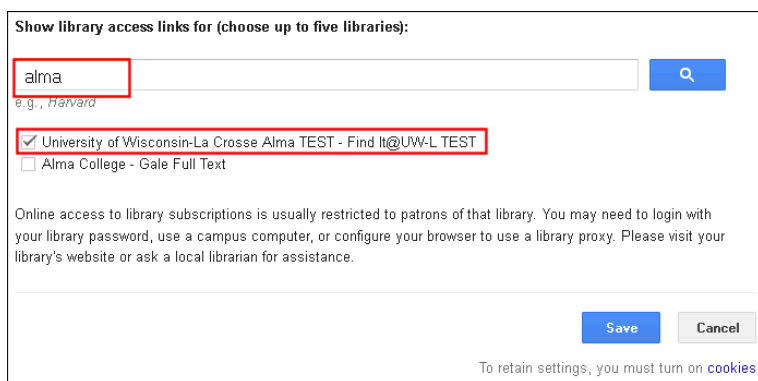
Google Scholarで図書館リンクを設定する

2. Scholar 設定で図書館リンク を選択します。



Google Scholar図書館リンク

3. 図書館を検索して選択し、保存を選択します。



図書館を選択

3. 図書館で利用できる記事をGoogle Scholarで検索し、所属機関のリンクを選択します。記事の利用可否が不明か、または使用できない場合、あなたの図書館のリンクにアクセスするにはさらに詳しくを選択しなければならないことがあります。

Google search results for "nature". The search bar shows "nature" and a search button. Below the search bar, it says "About 4,240,000 results (0.04 sec)".

Three search results are visible:

- Result 1: "[PDF] The barite-opal-organic carbon association in oceanic particulate matter" by N VOL - Nature, 1988 - flameglo.lbl.gov. A red box highlights the link "[PDF] from lbl.gov" and another red box highlights the link "Find It@UW-L TEST".
- Result 2: "Continuous cultures of fused cells secreting antibody of predefined specificity" by G Köhler, C Milstein - Nature, 1975 - nature.com. A red box highlights the link "Find It@UW-L TEST".
- Result 3: "[CITATION] Order out of chaos: Man's new dialogue with nature" by I Prigogine, I Stengers, A Toffler - 1984 - Bantam books New York. A red box highlights the link "More".

Google Scholarを検索

4. Primoにリダイレクトされ、期待どおりに記事にアクセスできることを確認します。

Note

上記の設定手順を完了した後で必要な時間が経過しても、機関へのリンクがGoogle Scholarに表示されない場合は、Google Scholarの登録を完了するためのサポートリクエストを提出してください。
